

【奨励賞】

団体名	将来を支える若い世代の起業家教育推進事業「びわ湖キャリアチャレンジ・びわ湖ピッチ」 (しょうらいをささえるわかいせだいのきぎょうかきょういくすいしんじぎょう びわこきやりあちやれんじ・びわこびっち)
活動の内容 (概要)	中・高校生が地域の魅力・問題を発見しながらビジネスプランを作り、ピッチイベントで成果発表を行うもの。参加者は、約2ヶ月間、社会で活躍する起業家や専門家等による丁寧なフォローアップ（ピッチのフィードバック含む）を受けながら、フィールドワークやワークショップを経て、ビジネスプランのブラッシュアップを行う。本プログラム実施後も、行政・民間共に、希望者への継続した支援を実施している。

受賞理由

- フィールドワーク、ワークショップ、アイデアのブラッシュアップと展開していくビジネスプランづくりに、大学や企業、OBやOGも関わりながらチーム活動を支える仕組みづくりに努めているところがすばらしい。ゴールとしているピッチでのアイデア提案に留まらず、それが社会実装される道筋ができると面白い展開が期待できるのではないかと。ICTを活用して地域を越えた参加を可能にしたり、メタバースやVR技術に注目しているところも興味深い取組である。
- 地域の優良企業を巻き込んでおり、起業家の集まる街づくりという市のコンセプトに合わせた展開であり、産業界連携の好事例。内容もとても充実しており、専門家などのフォローや、ICTや先進技術の活用など、充実した準備期間を経た本格的なピッチイベントにつながっている。担当メンターを付けるなどのきめ細かい取り組みである。
- 中・高校生が地域の魅力・問題を発見しながらビジネスプランを作る優れた取組である。
- 学校現場や行政のみでなくキャリア教育の難しい起業家教育推進という分野を民間のプログラムを活用した好事例であるが、今後学校教員がどのようにかかわっていくのか期待するところである。
- 産学官等の連携を通じた、地域に密着した起業家育成プログラムである。

連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等の機関や団体）】

立命館守山中学校・高等学校、滋賀県立守山中学校・高等学校、守山市教育委員会

【行政や地域・社会、産業界等】

行政：守山市、財務省近畿財務局大津財務事務所

地域・社会：一般社団法人インパクトラボ

産業界：2022年度：前年度協賛団体 + 株式会社村田製作所

2021年度：前年度協賛団体 + 株式会社日本政策金融公庫、日本コカ・コーラ株式会社、旭化成株式会社、株式会社平和堂

2020年度：株式会社マイネット、株式会社 earth kiss、株式会社 COMARS、守山商工会議所

活動開始の経緯



＜ワークショップ（プランのブラッシュアップ）の様相＞

【活動開始時期】令和2年～ 【継続年数】3年

守山市では、「地方創生プラン（第2期 守山市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」において、「起業家の集まるまちづくり」の実現を具体的施策として掲げているところ、関係機関との意見交換会の中で、若い世代の起業家教育推進の必要性に係る声が多数挙がっていた。

こうした中、当市を取り巻く若い世代（中高生）に対し、「起業」をテーマとした地域の魅力や課題の再発見の機会作りを提供し、起業を身近に感じてもらうほか、地域との関わりを通じて、将来の本市での起業家人材の育成や本市を軸とした若い世代等

のコミュニティ形成につなげることを目的に「びわ湖キャリアチャレンジ（旧もりやまキャリアチャレンジ）・びわ湖ピッチ（以下、「本プログラム」という。）」を令和2年度より開始した。

「協力性」についての具体的な取組，工夫している点など

本プログラムの企画は、守山市の起業家教育推進業務の一環として、学校法人立命館の起業・事業化推進を行う部署協力の下、起業や探究学習のコーディネートに係るノウハウを有する一般社団法人インパクトラボが中心に行った。続いて、企画を具体化・推進する過程で、当プログラムの理念に賛同する機関（市内の民間企業等）と支援体制の整備を行った。結果、各機関が相互に補完・協力する体制が構築され、特性に応じたノウハウや環境を参加者に提供できるようになった（具体例は以下のとおり）。

更に、プログラム期間中は、参加者がいつでも担当メンターや協賛企業等に質問ができる体制や仕組みも構築した。

具体例1：ビジネスプランのブラッシュアップについて

株式会社マイネット代表取締役上原仁氏をはじめ、市内の起業家や大学教員が講師となり、参加者の提案するビジネスアイデアのブラッシュアップや壁打ちを行う参加型ゼミの実施

具体例2：ビジネスプランのマネタイズについて

株式会社日本政策金融公庫の担当者が講師となり、ビジネスプランを現実的かつ具体的にするために必要な金融知識や収支計算を学ぶ授業の実施

具体例3：市内のコワーキングスペースやピッチ（成果発表）会場の提供

プログラム期間中、参加者の活動拠点として、コワーキングスペースを株式会社 earth kiss が無償提供したほか、ピッチについては、県下最大級のホールを持つ琵琶湖マリオットホテルが会場を提供

「継続性」についての具体的な取組，工夫している点など

本プログラムは、実施期間を7月中旬から8月末の夏休みと合わせたこと、遠隔地でのプログラム参加ができるようにICTを活用したシステムを活用したこと、必要に応じて情報端末を持たない参加者に向けて端末を無償で貸し出すことなど、参加障壁の低いプログラムの設計とした。こうしたことから、参加者の保護者からも当プログラムへの理解を得ることができた。

また ICT を活用した本プログラムの設計は、参加者側の負担を減らすだけでなく、支援する側にとっても継続して支援できる仕組みであった。

なお、本プログラムの回数を重ねる中、当プログラムを一過性のものとしないうちに、過去のプログラム参加者（OBOG）との継続的な繋がりも意識し運営を行った。例えば、前年度の優秀チームと今回の参加者の意見交換をする機会を設けたり、ピッチの司会を OBOG が担ったりした。更に、メンターとして参加者をサポートする立場で継続して、本プログラムに関わりを持てる機会を創出した。

以上のとおり、継続性や参加者同士の繋がりを意識することで、参加者・保護者・教員のみならず、若い世代への起業支援に直接協力してくれる企業等についても、長期に継続して協力ができる運営上の工夫をした。

「実践性」についての具体的な取組，工夫している点など



＜成果発表及びデジタルツイン体験実施の様相＞

キャリア教育の必要性は、学校や地域含め誰もが共通認識としてもっていたものの、学校現場や守山市（行政）のみで解決することは難しい状況であった。特に学校現場において、探究学習プログラムにおけるキャリア教育の発展例として、起業の選択肢が持ち上がる事が多いが、起業経験がない学校教員が生徒に教育することは困難な状況であった。

こうした状況下、本プログラムにより、参加生徒が起業について自主的に学びやすい体制を提供した。例えば、一つの機関では解決できない上記課題（例えば起業経験などのレクチャー）については、守山市出身経営者の方々から、それぞれが経験してきたこと、立場によって異なる考え方やマインドを学ぶ機会を設けた。

また、本プログラムにおいては、一方的な講話に留まらず、参加者が自ら類似の社会課題をもつ者とチームを組み活動することをルールとした。これにより、これまで相対したことがない者とのチーム活動を行うこととなり、起業の基礎となるコミュニケーション能力、突出した考えなどを認め合う多様性への理解や活動をやりきる力などが醸成された。

本プログラムが下支えとなって、学校現場からは「参加した生徒がその後の学校活動により積極的に取り組むようになった」という声が聞かれたほか、大学進学後起業家として活躍する者が現れるなど、実践を追求した本プログラムの影響が参加者に良い影響をもたらしている。

「発展性」についての具体的な取組，工夫している点など

本プログラムは当初、守山市の起業家教育推進業務であることから、市内の中学生・高校生を対象としていた。しかし上記のとおり、参加障壁の低いプログラムの設計としたことや、支援する側が継続的に協し易い仕組みを構築し、更に本プログラムの経過や実績を「見える化」したことで、市域を超えた者から注目・関心・賛同を得ることとなった。

多種多様な者から意見等が挙がる中、第2回・第3回は、市外・県外からの参加を許可した。また、本プログラムは「チーム制」を原則としているところ、ビジネスプランの達成のために新たな仲間が必要となることが想定されることから、プログラム途中でのメンバー追加も可という柔軟な運用を行うこととした。

結果、それぞれのプログラム開始前後（プログラム中も含め）に、参加者が検証を真摯に行い、目的意識をもちながら本プログラムを発展させてきた。結果として、年々本プログラムに関わる者が増加しており、「起業家が集まるまちづくり」に資する取組となっているものと理解している。

特に、本プログラムの締めくりとなるピッチは、市内・県内の学校教員などの教育関係者や観覧希望の行政関係者等を招き見学いただいたほか、ピッチの動画を一般公開し、多くの者に成果や活動方針が伝わるようにした。

以上のとおり、取組を「見える化」し、検証等を繰り返した結果、地域・社会へ波及し、より多くの協力を得られる取組となっているものとする。

学校現場の評価・感想・コメント

立命館守山中学校・高等学校

学びの探究化や社会実装による起業家育成教育を展開する本校にとって、「びわ湖ピッチ」は産官学地域が密接に連携した大変魅力あるコンテストである。また、生徒も「びわ湖ピッチ」に向けた取り組みを通して、地域や社会が抱える課題に目を向け、年齢や学校の枠を超えた人的ネットワークを形成しながら、解決することの面白さや意義を学び、チャレンジ精神や自己肯定感、進路への意欲を高めるなど、顕著な成果が出ている。

滋賀県立守山中学校・高等学校

本校生徒が自らのアイデアについて考察し、改良を加えていく中で、「学校」の枠を超え、様々な団体や個人の皆さまとの交流が生まれ、研究内容についての視野が広がった。また、自分たちに助言を頂ける皆さまへの感謝の念が芽生えたことを通じ、周囲への「配慮」や「思いやり」の気持ちを自然と持てるようになり、生徒たちの人間形成にも大いに資するものとなった。

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

守山市

本プログラムは、若い世代にチャレンジをする機会を創出する共に、支援する側の体制の確立も意図している。取組の「見える化」や振り返りを真摯に行っていく過程で、多種多様な者が熱量をもって参加者を支援している。引き続き、学校関係者と連携し、若い世代のキャリア教育に資する取組を推進したい。

近畿財務局大津財務事務所

当局は、地方創生に対する課題解決に向けた支援を行っており、今般、若い世代に起業をキャリアの一つとしてもらうことを目指す守山市の本プログラムの趣旨に賛同し、参画させていただいた。特に最終日は、素晴らしい会場・演出の下、独特の緊張感の中ピッチが盛大に行われ、参加者にとって、ひと夏を捧げるに相応しい非常に良い経験であったと考える。当局としては、今後も引き続き、こうした取組を支援してまいりたい。

株式会社マイネット

全3回参加させていただき、年々レベルアップしている。ピッチを通じて何よりも皆さんの情熱が伝わってくる。提案のあった事業を実現される場合、あるいは大学進学等をされる場合も含め「これだけは負けない」という点を磨きあげていただきたい。そのことが皆さんの素晴らしいキャリアに繋がると思う。

旭化成株式会社

3年間継続して協力させていただいている。ピッチについては、若いエネルギーを肌と感じ、かつ、年々内容はレベルアップしている。今後、起業をするに当たっては、様々な苦勞をされると思うが、この約2カ月の経験は大変貴重なものになると考える。

日本コカ・コーラ株式会社

解決したい課題に対する熱意、そしてそのソリューションをビジネスに繋げようとされているところが素晴らしい。本当に爽やかなひと時をいただけた。事業を成功させるためにはモチベーション・情熱の継続が重要。若い皆さんに新しいモノや世界を創っていただければと思っている。

株式会社平和堂

物事を様々な角度から見る事、自分が納得し、かつ、他人に認めてもらえるようにするにはどのようにすべきかを考えること、こうしたプロセスが大切。更に、こうした経験を通じて成長し、行動に移して行くことが重要と考える。私どもも皆さんと共に頑張っていきたい。

株式会社村田製作所

ビジネスプランの中に、弊社が常日頃から考えている「科学技術を大切にしないといけない」という着眼点があり、非常に頼もしく思った。皆さんには勉強に引き続き励んでいただきたい。